

日本IDDMネットワークサイエンスフォーラム

2020 **6.6** SAT 開場10:00
10:30▶16:30

Asia Startup Office MONO フューチャーセンター

1型
糖尿病

2025年

私たち、僕たちと挑戦しましょう



0歳で発症のゆうこさんは、毎日5回、生涯15万回の注射を打ちます。13歳のゆうこさんは、これまで2万回以上も注射を打っています。この子の手には“注射”ではなく“希望”を握らせたい。



阪神タイガース
岩田 稔 投手 (17歳発症)



元エアロビック競技日本代表
大村 詠一氏 (8歳発症)

お台場の自由の女神像とレインボーブリッジ(写真はイメージです)

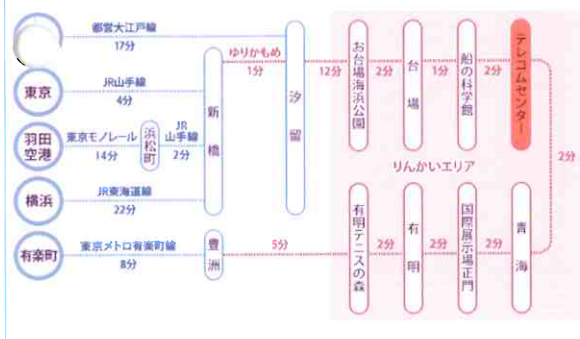
会場 Asia Startup Office MONO フューチャーセンター 東京都江東区青海二丁目5番10号
テレコムセンタービル 東棟14階

交通案内 <https://mono.jpn.com/telecom-center-access/>

- ゆりかもめテレコムセンター駅下車直結
- りんかい線東京テレポート駅下車徒歩約15分

主要駅からのアクセス

※掲載した時間は乗り換え時間などを含みません



参加費

- 会員(患者・家族)..... 2,000円
- 会員(患者・家族以外)..... 4,000円
- 非会員(患者・家族)..... 5,000円
- 非会員(患者・家族以外)..... 10,000円
- 高校生・大学生・大学院生・専門学生..... 1,000円
- 当日お支払いください。
- 中学生以下及び、市町村民税非課税世帯の方は無料です。
- 収益は全額1型糖尿病研究基金に充当します。
- 高校生・大学生・大学院生・専門学生の方は、学生証(生徒手帳)を提示してください。
- 昼食は、各自でご用意ください。

お問い合わせ・お申し込み先

「治らない」から「治る」へ
認定特定非営利活動法人 **日本IDDMネットワーク** TEL0952-20-2062 FAX020-4664-1804
〒840-0823 佐賀県佐賀市柳町4-13 info@japan-idm.net <https://japan-idm.net/>

日本IDDMネットワークのホームページにてお申し込みください。
もしくは、裏面参加申込書にご記入の上、
FAXまたは郵送にてお申し込みください。 https://japan-idm.net/sympo_2020_tokyo/

主催 ■ 認定特定非営利活動法人日本IDDMネットワーク 後援 ■ 文部科学省、厚生労働省



「治らない」から「治る」へ in 東京

どなたでもご参加いただけます。

プログラム

T-one Science Forum ~ Aiming for a Cure

10:30	開会挨拶 井上 龍夫(日本IDDMネットワーク理事長) — 日本IDDMネットワーク25年の取組と今後の展望 —
10:40	特別講演「iPS細胞から膵臓を作る」 中内 啓光(スタンフォード大学医学部 幹細胞生物学・再生医療研究所 教授/東京大学医科学研究所 幹細胞治療部門 特任教授)
11:20	
11:50~13:00	昼食休憩・1型糖尿病に関する展示(企業展示・動画放映)
13:00	第3回 山田和彦賞 受賞者発表
13:05	感謝状贈呈式
13:15	サイエンスカフェのプロローグ(各研究者よりサイエンスカフェの研究テーマ紹介プレゼン)
13:45~14:00	休憩
14:00	サイエンスカフェ(ポスター方式)ー私の1型糖尿病“根絶”への取り組みー(研究者との自由な意見交換) テーマ①「バイオ人工膵島移植の実現」 霜田 雅之(国立国際医療研究センター研究所 膵島移植プロジェクト長) テーマ②「動物の体内でヒトの膵臓を作る」 山口 智之(東京大学医科学研究所 幹細胞治療部門 特任准教授) テーマ③「低血糖激減プロジェクト」 村田 敬(国立病院機構京都医療センター糖尿病センター 医長) テーマ④「インスリンを使用することなく血糖値を正常化する治療法」 坂野 僚一(名古屋大学総合保健体育科学センター 准教授) テーマ⑤「大規模災害時の支援システム確立」 阪本 雄一郎(佐賀大学医学部附属病院 高度救命救急センター長) テーマ⑥「1型糖尿病モデルマウスを用いたタークペプチドの前臨床試験」 佐伯 久美子(国立国際医療研究センター研究所 疾患制御研究部 幹細胞治療開発研究室 室長) テーマ⑦「自らの脂肪から再生医療技術で作成したインスリン産生細胞の自家移植による1型糖尿病根治に向けた研究」 池本 哲也(徳島大学病院消化器・移植外科 特任准教授) テーマ⑧「次世代型抗体医薬 Antibody-drug conjugate (ADC) により免疫細胞を制御する方法の開発」 安永 正浩(国立がん研究センター 先端医療開発センター 新薬開発分野ユニット長) テーマ⑨「ヒト膵島を用いた膵β細胞量増大の実現に向けた研究」 京原 麻由(横浜市立大学医学部内分泌・糖尿病内科 助教) (研究代表:白川 純(横浜市立大学医学部内分泌・糖尿病内科 講師))
15:00~15:10	休憩
15:10	分科会ー患者・家族間交流テーマ〔発症初期の患者・家族、高齢患者、成人発症患者、小児期発症の患者・家族、2型糖尿病、MODY(家族性若年糖尿病)、妊娠糖尿病、最新機器の現状〕
16:10	第14回 1型糖尿病研究基金研究助成課題の発表
16:15	日本IDDMネットワークの研究支援メニューのご紹介
16:25	閉会挨拶 大村 詠一(日本IDDMネットワーク副理事長)

1型糖尿病

2025年

「治らない」から「治る」へ in 東京

日本IDDMネットワークサイエンスフォーラム

ー根治に向けてのカウントダウン6ー

定員200名

(先着順)

6.6

SAT

開場10:00

託児あり

日本IDDMネットワーク サイエンスフォーラム参加申込書

2020年6月6日

Asia Startup Office MONO フューチャーセンター

ふりがな 氏名	〒		県	都府
※ご家族単位でお申し込みされる場合は、 代表者氏名と総参加人数をご記入ください。	名 (うち中学生以下	名)	住所	
該当する□に ✓を付けて ください	日本IDDMネットワーク <input type="checkbox"/> 会員(<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 賛助 <input type="checkbox"/> 患者会 [所属会名])		TEL	自宅・携帯・職場
	<input type="checkbox"/> 非会員(<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 企業・団体等 [所属名])		FAX	自宅・職場
	<input type="checkbox"/> 高校生・大学生・大学院生・専門学生		E-mail	本人・職場
	<input type="checkbox"/> 1型DM患者 <input type="checkbox"/> 1型DM患者の家族 <input type="checkbox"/> 2型DM患者 <input type="checkbox"/> 2型DM患者の家族 <input type="checkbox"/> その他()		※長文のご案内メールをお送りする場合がありますので携帯メールの場合にはご了承ください。	
	<input type="checkbox"/> 医療従事者(医師・看護師・栄養士・その他[]) <input type="checkbox"/> 託児サービスを利用する(無料)(人)(. . 歳) <input type="checkbox"/> 市町村民税非課税世帯		当日ボランティアスタッフ募集 協力いただける方は○を付けてください	

※お願い：当方からご連絡する際に、E-mail又はFAXを使用しますので鮮明にお書きください。

※託児は保育士ではなくボランティアスタッフによるものですのでご了承のうえでお申込みください。※手話通訳や車椅子等が必要な方は事前にご連絡ください。

※ボランティアスタッフとしてご参加、ご協力をいただける方には、後日事務局より活動内容をお知らせいたします。

※お預かりした個人情報は、当法人からのご連絡のみ使用し、ご本人の承諾なしに第三者へ提供することはありません。